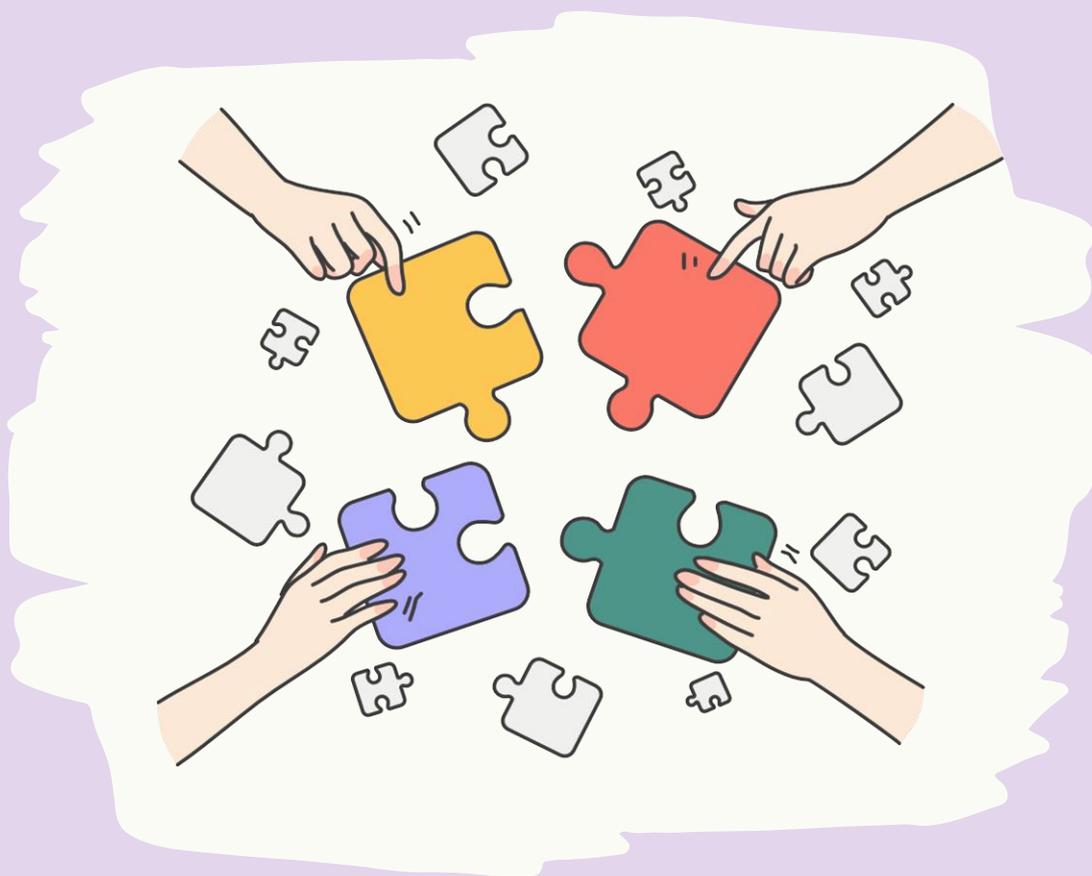


第6回 ～ものづくりで未来の健康を支える～

医療創生アイデアコンテスト

開催要領

※「創生アイデアコンテスト」は「医療創生アイデアコンテスト」に名称を変更しました。



主催：ふくしま医療機器開発支援センター

後援：文部科学省、厚生労働省、経済産業省、福島県教育委員会、福島民報社
福島民友新聞社

1. 医療創生アイデアコンテストとは？

本コンテストは、**次世代を担う学生の皆さん**が、病気やケガなどの予防や医療とリハビリや介護などに役立つ医療機器の開発などをおして、**健康的な生活を支える分野に興味・関心を持つきっかけとなることを目的**に開催いたします。



2. 対象

日本全国の高校生以上の学生（高校生、高専生、専門学校生、大学生、大学院生）

※チーム・個人どちらでも参加が可能です。

3. 募集内容

テーマ A

自分や身近な人々の健康をサポートする！

皆さんが日常生活を健康的に送るための製品アイデア

こんな人へ

- ・技術やデザインに興味があり、健康に役立つ製品を考えてみたい！
- ・日々の生活の中で、健康にむけて解決したい課題がある！
- ・忙しい毎日の健康や安全をサポートする製品を考えてみたい！

テーマ B

困っている人を助けたい！

助けを必要とする人の生活を支える製品アイデア

こんな人へ

- ・技術やデザインで、課題解決に向けて挑戦してみたい！
- ・「誰かの役に立ちたい」と思う気持ちを形にしてみたい！
- ・身近な人が困っている姿を見て、「サポートできる方法」を考えたい！

※同一テーマへの応募は、1アイデアまで。(AとBそれぞれの応募は可)

※ AとBは共通の審査基準とフローで審査を行います。その上で両テーマの中から表彰されるアイデアを決定します。

スケジュール

2025年

4月1日(火)～7月18日(金) エントリー

4月1日(火)～8月31日(日) アイデアシート提出

9月上旬～中旬 一次審査(書面審査)

●9月下旬／一次審査結果発表

10月上旬～中旬 専門家アドバイス

10月29日(水) 最終審査(プレゼン)／結果発表

※第21回医療機器設計・製造展示会「メディカルクリエイションふくしま2025」会場内で開催します。(福島県郡山市)

●10月30日(木)／医療関連施設の裏側見学

表彰

👑 **文部科学大臣賞 (最優秀賞)** 1点(ギフトカード10万円)

👑 **優秀賞** 1～3点(ギフトカード 5万円)

👑 **入賞** 数点(ギフトカード 2万円)

特別賞 お楽しみに!

最終審査会の交通費を補助

福島県外から参加されるチームまたは個人には、交通費・宿泊費の半額を主催者が負担します。(対象費用は1チーム3名分までとし、宿泊費は1泊のみ)

自分や身近な人々の健康をサポートする！

テーマA 皆さんが日常生活を健康的に送るための製品アイデア

生活環境やライフスタイルの変化により、生活リズムの乱れや運動不足などが原因による病気やケガといった健康上の悩みを抱えている人がいます。こうした人々や皆さんご自身が感じている課題を解決し、健康的な生活を送るためには、日常に取り入れやすい製品や楽しみながら続けられる製品が重要です。また、健康意識を高めることは病気やケガの予防にとどまらず、QOL^{*1}の向上にもつながります。

皆さんが持つ新しい視点や自由な発想で、自分や周りの人がより健康的に暮らせる製品アイデアを考えてみてください。

^{*1}…QOL（クオリティ オブ ライフ）は日本語で「生活の質」「生命の質」「人生の質」などと訳され、私たちが生きる上での満足度をあらわす指標



こんな人にオススメ！

- ・技術やデザインに興味があり、実際に**健康**に役立つ製品を考えてみたい！
- ・日々の生活の中で、**健康に向けて**解決したい課題がある！
- ・忙しい毎日の**健康や安全をサポート**する製品を考えてみたい！



〈参考文献〉 現状分析などにご活用ください。

厚生労働省：[健康日本21（第三次）](https://x.gd/044AN) <https://x.gd/044AN>

文部科学省：[健康な生活を送るために（高校生用）](https://x.gd/B44hx) <https://x.gd/B44hx>

困っている人を助けたい！

テーマB 助けを必要とする人の生活を支える製品アイデア

私たちの社会には、介護が必要な高齢者や障がいのある方、病気やケガを抱えている方など、様々な事情によりサポートを必要とする方もいます。こうした方々が、安心して日常生活を送るためには、生活をサポートする製品や、介護をする方たちの負担を減らす製品が非常に重要です。これらの製品は、持続可能で支え合う社会を作るためにも大切な役割を果たします。

また、健康寿命^{※1}を延ばすことでQOL^{※2}を向上させる方法や、困ったときの助けになる製品も必要とされています。皆さんが持つ新しい視点や柔軟なアイデアを活かして、助けを必要としている人々の生活をより豊かにする製品を提案してください。

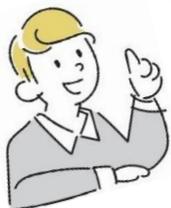
※1…健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間

※2…QOL（クオリティ オブ ライフ）は日本語で「生活の質」「生命の質」「人生の質」などと訳され、私たちが生きる上での満足度をあらわす指標



こんな人にオススメ！

- ・技術やデザインで、課題解決に向けて挑戦してみたい！
- ・「誰かの役に立ちたい」という気持ちを形にしてみたい！
- ・身近な人が困っている姿を見て、「サポートできる方法」を考えたい！



〈参考文献〉 現状分析などにご活用ください。

厚生労働省：[健康日本 21（第三次）](https://x.gd/044AN) <https://x.gd/044AN>

文部科学省：[健康な生活を送るために（高校生用）](https://x.gd/B44hx) <https://x.gd/B44hx>

4. 応募の流れ

STEP 1 エントリー

7/18(金)
まで

(1) 以下のいずれかからエントリー。

◆本コンテスト公式 HP [医療創生アイデアコンテスト](#)



◆エントリーフォーム [エントリーはこちら](#)



STEP 2 アイデアシートの提出

8/31(金)
まで

(1) 公式 HP よりアイデアシート様式をダウンロードし、アイデアシートを作成。

(2) 公式 HP の指定フォームより提出。

◆アイデアシート提出 <https://fmddsc.jp/idea-sheet/>

※ 郵送や Google ドライブでの共有、メールなどでの提出は受付いたしません。

※ 提出に不都合がある場合は、別途、事務局にご相談ください。

STEP 3 一次審査（書面審査）

9月上旬～
中旬 まで

●結果発表：9月下旬

●通知方法：メール等で通知

一次審査を通過した入賞チームまたは入賞個人

最優秀賞等の候補として
入賞アイデア6点程度を
選出します！

☑ 専門家アドバイス

10月上旬
～中旬

アイデアのさらなるブラッシュアップのため、専門家からのアドバイスが受けられます。

●実施方法：WEB 会議方式（使用端末やインターネット環境は各自ご用意ください）

※ 日程調整の上、日時を決定します。

☑ 最終審査会（プレゼンテーション発表） / 結果発表

10/29(水)

●会 場：ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南2丁目52）

※「第21回メディカルクリエイションふくしま2025」会場内での開催

●審査方法：プレゼンテーション発表

●結果発表：10月29日(水)

5. 入賞特典

一次審査を通過した入賞チームまたは入賞個人には、以下の特典があります。

☑ 専門家アドバイス

皆さんが考案したアイデアに、より専門的な視点を組み込むことでさらなるブラッシュアップをします。

昨年は、学生の希望に応じ、「ものづくり技術の専門家」、「医療の専門家（医師、理学療法士など）」、「医療機器・介護製品の専門家」によるアドバイスを WEB にて実施しました。



☑ 医療関連施設のウラ側見学

普段見ることのできない、医療関連施設のウラ側（福島県内の総合病院を予定）をご案内します。見学する施設は現在調整中のため、決まり次第ご連絡いたします。

見学日：2025年10月30日(木) ※参加自由



☑ 最終審査会交通費補助

福島県外から参加されるチームまたは個人には、交通費・宿泊費の半額を主催者が負担します。ただし、対象費用は1チーム3名分までとし、宿泊費は1泊のみです。

- ※ 費用確認のため、交通費・宿泊費の領収書の写し等をご提出いただき、実際にかかった費用を確認した上で、所定の口座にお振込みします。
- ※ 保護者・担当教員・顧問は支給の対象外となります。



——メディカルクリエーションふくしま 2025 とは？——



国内唯一の医療機器設計・製造に特化した展示会で、2025年に第21回を迎えます。2024年は全国から医療機器開発関連の企業が200社以上出展し、医療機器や医療に関わる方々が一堂に会し、国産手術支援ロボット「hinotori™」の展示を含めた、再現手術室や排泄・入浴をテーマに関連した介護ロボットの展示を開催しました。こちらも学生の皆さんにとっても貴重な体験になるかと思っておりますので、ぜひ楽しみにしててください！



- 【次回の開催】 2025年10月29日(水)-30日(木)
- 【会場】 ビッグパレットふくしま（福島県郡山市南2丁目52）
- 【2024の様子】 [紹介ムービー](#)
- 【ホームページ】 [メディカルクリエーションふくしま 2025](#)

6. 審査について

(1) 提案に期待すること

アイデアを考える際は次のポイントを意識してみてください。

課題の具体性

「誰の」、「どんな課題やニーズ」を解決しているのか、具体的に記載されていること

根拠の明示

統計データや調査結果、自身または身近な人の体験など、課題に対してどうしてそのように考えたのか根拠が記載されていること

実現可能な技術の活用

最新・既存に関わらず、実現できる可能性が高い技術を用いたアイデアであること

(2) 除外する提案事項

以下に該当するアイデアは、**審査の対象外**となります。

具体性がない

使用される技術が具体的ではなく、結果だけ記載されており、**どのような過程を経て結果をもたらすのか説明がないもの**

×例：「アプリのAIやロボットがどんな問題でも解決してくれる」、「使用すれば傷が治る」など

実現性が感じられない

既存技術を大きく凌駕し、**実現するハードルが高すぎる提案**となっているもの。

×例：「この手袋を着用するとなんでも軽く感じ、持ち上げられるようになる」、「水筒から常にきれいな水が湧き出てくる」など

世の中に既に存在している

既存する製品やシステムと**同一の機能または著しく類似しているもの**。

★事前に同一製品や類似品がないか調査してみてください。

(3) 審査基準

以下の項目を中心に審査します。

必要性

対象者と課題やニーズ、根拠が明確で、世の中にとって課題解決の必要性を十分に感じるアイデアか

妥当性

解決を目指す課題に対し、適切なアプローチが取られていると思われるアイデアか

納得感

実現可能性の高い技術に基づいており、その技術の根拠や提供される価値が納得できるアイデアか

新規性

全く新しい、または既存の概念を広げていると思われるアイデアか

(4) 審査員

審査員は後ほどHPやメールなどでお知らせします。

技術の専門家

医療の専門家

医療・介護機器の専門家

デザインの専門家

など



第5回創生アイデアコンテスト（2024）最終審査会の様子

7. 留意事項

- (1) 提案するアイデアは参加者が発案した**オリジナルのものに限ります**。
- (2) 写真やイラストを使用する場合は、**著作権に十分配慮**願います。
- (3) 特許などの知的財産として出願が必要と考えられる場合は、応募する前に、先生や専門家に相談してからご応募ください。アイデアの特許・知的財産に関する責任は、本コンテストでは一切負いません。
- (4) 試作を行う場合の費用は自己負担でお願いします。
- (5) **提出されたアイデアは主催者ホームページなどに公開することに承諾いただいたものとみなします**。
- (6) 提出されたアイデアシートやプレゼンテーション資料は返却しません。
- (7) 公序良俗に反する行為、及びそれに準ずる行為をとったと事務局が判断した場合、ご応募を取り消す場合があります。

8. 主催者・問い合わせ先

主 催：ふくしま医療機器開発支援センター

〒963-8041 福島県郡山市富田町字満水田 2 7 番 8

問い合わせ先：事業企画推進部 医療創生アイデアコンテスト担当者

☎ 024-954-4014

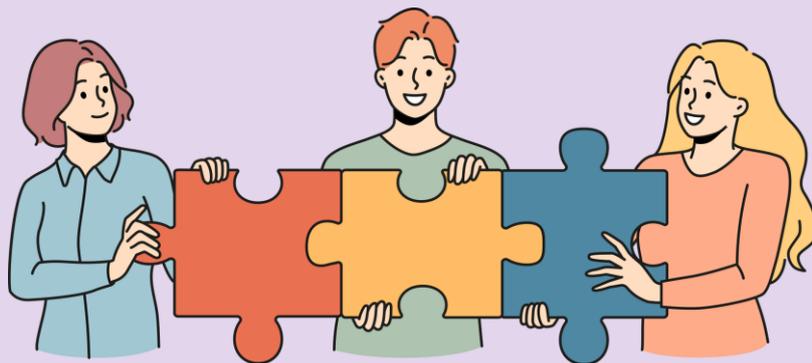
✉ jjgyobu@fmdipa.or.jp

公 式 H P：<https://fmddsc.jp/event/第6回創生アイデアコンテスト>



◆技術で創るウェルネスな未来へ

本コンテストでは、皆さんの視点で「テーマ」に関連する「課題」について考え、その課題を実現の可能性が高い技術で解決するアイデアを募集します。「ウェルネス」(心身ともに健康でいきいきとした生活)な社会を実現するためのアイデアをお待ちしております。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



ふくしま医療機器開発支援センターでは医療の発展と医療機器の開発を支援することで、健康で安心できる持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

『医療創生アイデアコンテスト』は、その中でも「3 すべての人に健康と福祉を」と「4 質の高い教育をみんなに」の達成に重きをおいた取り組みです。